

※当ドキュメントを読む前に、同梱の取扱説明書を一読しておく事をお勧めします。

※当ドキュメントの通読は、ソフトウェアの使用上必須ではありません。(が、読むと得る物があるかもしれません。)

1. 当ソフトウェアの開発の背景

私は今まで様々な仕事を経験してきました。様々な仕事を経験する事となった要因は、どんな仕事も長続きしなかった事が大きいです。しかし、そんな中でも金融系のシステムエンジニアとしての経歴が長く、市場系と勘定系の両方を経験する機会がありました。

その市場系のシステムエンジニアとして、某証券会社に在籍していた時、先輩社員から聞いた話ですが、証券会社というのは様々な金融商品を作り、顧客のニーズに合った商品を提供する事も競争になっているそうです。金融商品と言っても色々ありますが、私が在籍していた部署ではデリバティブに関する商品を扱う業務でした。所謂オプションというものですが、一般的にオプションと言えば日経 225 オプションを指しますが、それは数あるオプションのうちの一つであり、一般的に言われている日経 225 オプションの形式の商品は金融業界ではプレーンバニラという商品名で呼ばれています。例えば、外国為替のバイナリーオプションという投資商品も最近目立ってきましたが、あれも金融業界ではデジタルオプションという商品名で呼ばれており、オプションの一種です。そして、様々なオプションを組み合わせ、様々な顧客のニーズに合った商品の提供を目指すのですが、そこで私が疑問になった事は、その数あるオプションを全通り組み合わせれば、顧客のニーズに合った商品なんて簡単に作れるのではないかと思いました。n 個オプションがあったら、単純計算で 2^n 通りの商品を作る訳ですから、他の証券会社も圧倒出来る訳です。しかし、その先輩社員の方はオプションを組み合わせれば、確かに商品数は増やせるが、その組み合わせで作られたもののうち、リスクの計算が出来るものだけが商品として販売されるという事を言っていました。(つまり、証券会社側が損をする可能性よりも、証券会社側に利益が出る可能性の方が高いものだけが商品として選定されるという事です。)この話を聞いてから、私は、投資というものはリスクの見積もりが明確に出来ないまま続けていては危険だという認識を持つようになりました。

私は、モンテカルロ法自体は以前から知っていて、FX に応用出来れば効果的なのだろうとは思っていましたが、どの程度のリスクを持っているのかを認識出来てはいませんでした。(リスク 1 に対してリターン 2 にする場合、単純計算で負ける可能性 2 に対して勝つ可能性 1 となり、勝率は $1/3$ と考えられ、 $1/3$ の確率で配列から 4 つ以上の数字が消え、 $2/3$ の確率で配列に 1 つの要素が増える訳ですから、 $-4 \times 1/3 + 1 \times 2/3 = -2/3$ となり、数学的には要素は消える可能性が高く、勝ち易い手法だとは認識していましたが。)そこで、モンテカルロ法のリスクを論理的数値として算出し、資金管理法として FX に応用出来る形にする事を目指し、当ソフトウェアの開発に至りました。

2. モンテカルロ法と相性の良いトレード手法

私は子どもの頃から数学が得意で、大学時代は数学の未解決問題の研究に没頭し、研究で成果を上げ、卒業論文は国立大学修士論文レベルだと評価され、大学院からスカウトが来たり、卒業式では表彰されたりしたことがあります。

そうした実績から、自分は優秀で間違いが無いと、自信過剰になっていた部分もあり、恐らくそれが原因で投資において様々な失敗をする事になるのですが、その失敗談については後述するとして、私は、未知なる領域を知る事、数理的に解明する事に興味があるようです。

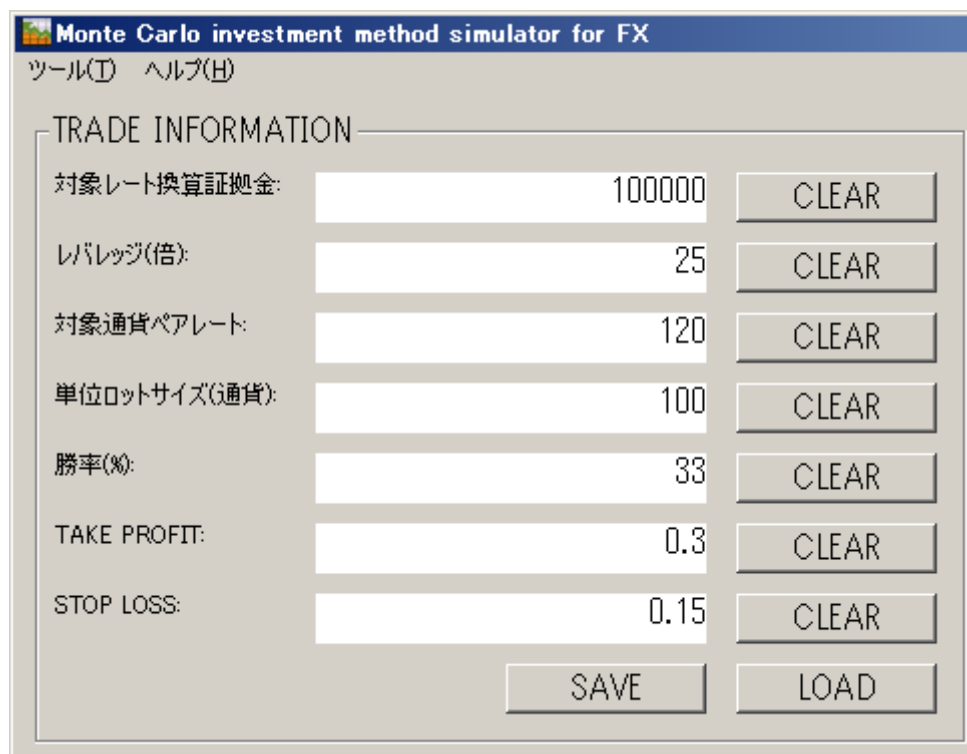
私は大学卒業後、上京して間もなく FX を知る事になるのですが、その FX という世界は未知なる領域で、FX で利益を上げる方法を探る事は、お金に直結する事が魅力である事もそうですが、数学の難問を解く事に似ている気がして、仕事そっちのけで FX のトレード手法の研究に没頭する事になりました。(因みに、会社から帰ってから明朝まで FX をして、出社して会社で寝るという生活をしていたら、会社をクビになりました。)

私は、会社をクビになった後も、失業給付を貰いながら、暫く FX の研究していたのですが、FX で利益を上げる為には、チャート分析に力を注げば良いだけではないと悟りました。結論を言ってしまうと、根底となる資金管理法と、その資金管理法と矛盾の生じないチャート分析法等を組み合わせる必要があると言う事を知ったと言う事です。「矛盾の生じない」と記した理由は、勝てる資金管理法と勝てるチャート分析法を組み合わせたからと言って、勝てるトレード手法になるとは限らないからであり、モンテカルロ法を使用する場合は、モンテカルロ法に適したチャート分析法等を選定する必要があります。

モンテカルロ法はリスク 1 に対してリターン 2 以上となる場合に、勝ちトレードで 1 セット終了した際、ほぼ全ての場合に利益が出る訳ですが、問題は何パーセント位の勝率で期待値がプラスになるのかという疑問があります。

では当ソフトウェアを使用して検証してみます。

以下のように、勝率が 33%、STOP LOSS が 1 に対して、TAKE PROFIT が 2 になるように設定し、TRADE LOG が初期状態で、ARITHMETIC SIMULATION を実行します。

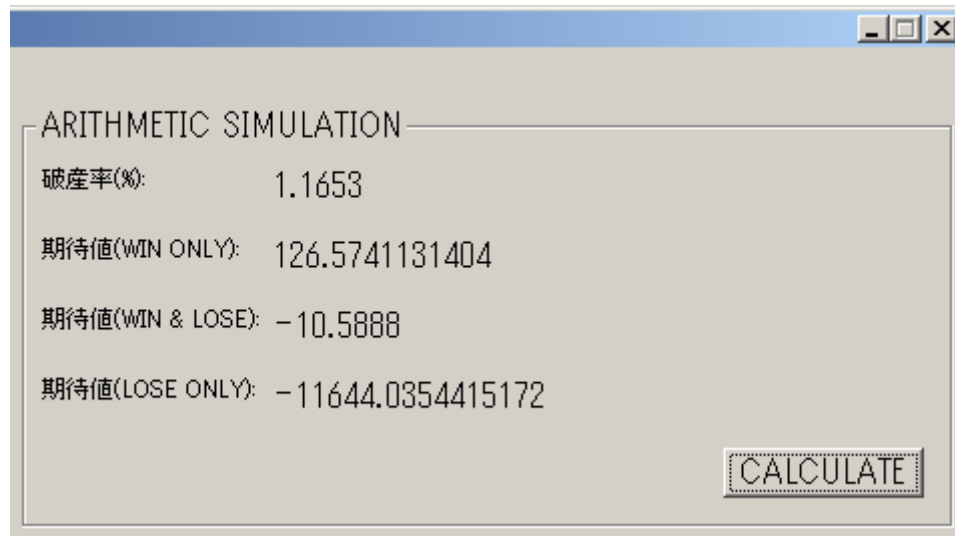


The image shows a screenshot of a software window titled "Monte Carlo investment method simulator for FX". The window has a menu bar with "ツール(T)" and "ヘルプ(H)". Below the menu bar is a section titled "TRADE INFORMATION". This section contains several input fields with their corresponding values and "CLEAR" buttons:

Parameter	Value	Action
対象レート換算証拠金:	100000	CLEAR
レバレッジ(倍):	25	CLEAR
対象通貨ペアレート:	120	CLEAR
単位ロットサイズ(通貨):	100	CLEAR
勝率(%):	33	CLEAR
TAKE PROFIT:	0.3	CLEAR
STOP LOSS:	0.15	CLEAR

At the bottom of the "TRADE INFORMATION" section, there are two buttons: "SAVE" and "LOAD".

ARITHMETIC SIMULATION を実行した結果は以下のようになりました。

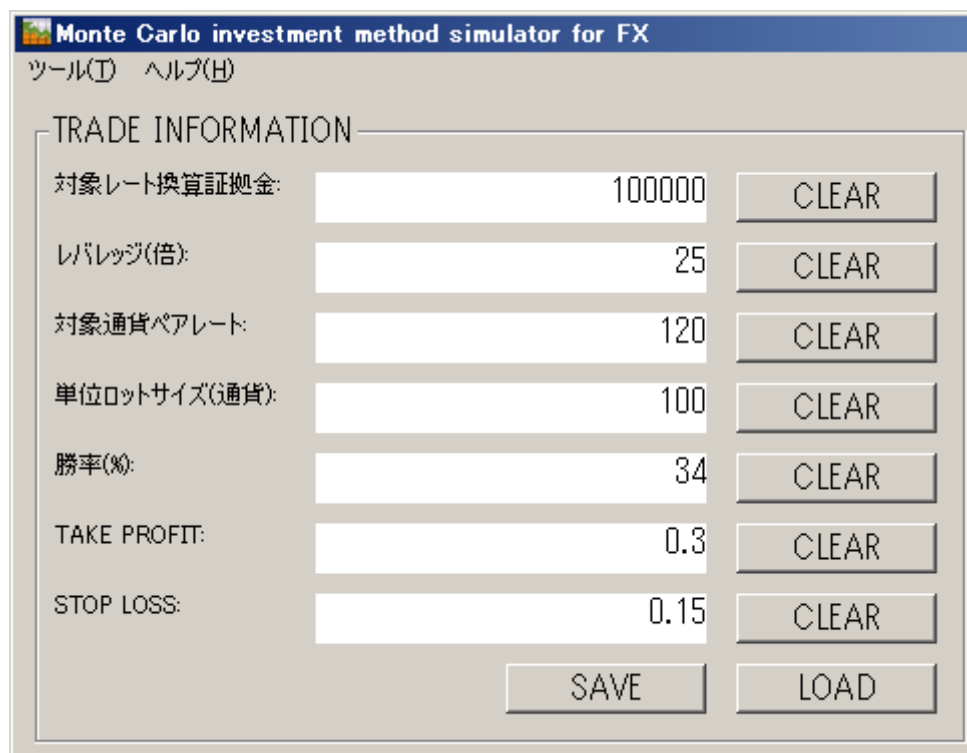


ARITHMETIC SIMULATION

破産率(%):	1.1653
期待値(WIN ONLY):	126.5741131404
期待値(WIN & LOSE):	-10.5888
期待値(LOSE ONLY):	-11644.0354415172

CALCULATE

次に、以下のように、勝率が 34%で、他のパラメータは前回と同じように入力し、ARITHMETIC SIMULATION を実行します。



Monte Carlo investment method simulator for FX

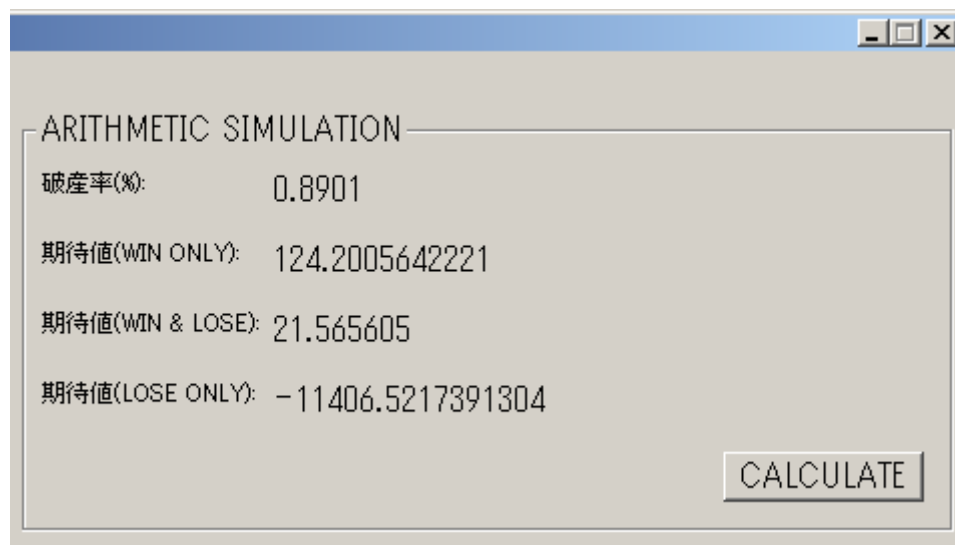
ツール(T) ヘルプ(H)

TRADE INFORMATION

対象レート換算証拠金:	100000	CLEAR
レバレッジ(倍):	25	CLEAR
対象通貨ペアレート:	120	CLEAR
単位ロットサイズ(通貨):	100	CLEAR
勝率(%):	34	CLEAR
TAKE PROFIT:	0.3	CLEAR
STOP LOSS:	0.15	CLEAR

SAVE LOAD

ARITHMETIC SIMULATION を実行した結果は以下のようになりました。



この結果を見ると、勝率 33%の時の期待値(WIN & LOSE)の値の絶対値が、勝率 34%の時の期待値(WIN & LOSE)の値の絶対値の 1/2 程度になっている事が分ります。故に、33%~34%の間を 1:2 に分割した辺り、即ち 33.3333...%の勝率の場合、期待値が±0 になると推定出来ます。

故に、勝率は 34%以上であれば、モンテカルロ法を利用して、長期的に見て損益をプラスに持って行く事が出来ると考えられます。後は、STOP LOSS が 1 に対して、TAKE PROFIT が 2 になるという条件を満たしながら、34%以上の勝率を維持できるトレードポイントを探す事になりますが、この要件を満たす絶好のポイントは米雇用統計になります。

一般的に、米雇用統計発表時の取引は急激にレートが動く為、危険とされています。米雇用統計の投機的な攻略法としてはハイロウズ OCO 手法が有名ですが、あの手法は見た目以上にテクニックを要します。私もやった事がありますが、米雇用統計発表直前は膨大な注文が殺到し、意図したポジションを打てなかったりします。しかも、約定に失敗したらまた 1 カ月先まで待たざるを得ませんし、仮に約定に成功しても決済には瞬発的な判断が求められ、一瞬の判断ミスが大きな損失に繋がる場合もあります。

しかし、考え方次第では米雇用統計を利用する事で、数学的に期待値がプラスになるように運用する事が可能になります。まず、米雇用統計の特性ですが、USD/JPY の通貨ペアの場合、平均 34pips 程度動き、発表後はどちらかの方向一方に向かい上昇または下落する傾向にあります。(これらは「あさみの FX 指標スキャル」という文献に記されていたデータを基に私が分析したものになります。)つまり、どちらかの方向に瞬時に大きく動く訳ですから、単純計算で、上方向に 50%の確率で平均 34pips 動き、下方向に 50%の確率で平均 34pips 動くの見積もれます。ここで米雇用統計発表前に利確を 34pips、損切りを 17pips に設定して、ポジションをエントリーしておくと、米雇用統計発表後に、50%の確率で 34pips の利益が上がり、50%の確率で 17pips の損失が出ると見積もれます。この場合、1 トレード当たり、 $0.5 \times 34 - 0.5 \times 17 = 17\text{pips}$ の利益が期待できます。ただ、34pips という数字はあくまで平均値なので、実際は 34pips よりも少なくするべきかもしれません。どの程度少なくするべきかを考える場合、統計学的アプローチが有効と思われるかもしれませんが、私はその全てを数理的に見積もるという考え方には懐疑的な部分があります。何故ならば、米雇用統計はコンセンサスより発表値の方が大きいのか小さいか等によってレートが上下する傾向がありますが、これは政治、経済やファンダメンタル的要因が大きく、簡単に多くの回に当てはまる米雇用統計の影響を見積もれないからです。私は、過去の

米雇用統計発表時の値動きを分析する事自体を全て否定はしませんが、少なくとも分析をして最高のパフォーマンスを出す事を目指すような、余裕の無い見積もりはしない方が良いのではないかと考えています。

米雇用統計発表前に行うポジションのエントリー方向については、分析のしようが無いと思われるかもしれませんが、強ちそうでもありません。テクニカル分析とファンダメンタル分析を混ぜたような手法ですが、売買方向を決定する際に有効な方法は存在します。米雇用統計発表前からチャートを眺めていると、良く表れる傾向ですが、出来高が非常に高くなり、小刻みにレートが振動しながら、ゆらゆらと上昇もしくは下落していきます、そして米雇用統計発表後に米雇用統計発表前に動いていた方向とは反対側に一気に動きます。この現象を解説しますと、まずコンセンサスが発表され、そのコンセンサスを基に専門家がレートが上昇するか下落するかを予測します。そして、その専門家の意見を基にトレーダーが米雇用統計発表前に売買するのですが、その際に専門家の予想に従って、ゆらゆらと上昇もしくは下落していく現象が発生します。そして米雇用統計発表と同時に米雇用統計発表前に動いていた方向とは反対側に一気に動く傾向にある理由は、アノマリーの一種と考えられますが、皮肉な事に多くの専門家の予想は外れる傾向にあるからです。

つまり、米雇用統計において、STOP LOSS が 1 に対して、TAKE PROFIT が 2 になるという条件を満たしながら、34%以上の勝率を維持するには、米雇用統計発表 10 分前頃から 1 分足程度のチャートを監視し、発生しているトレンドが上昇方向なのか下落方向なのかを確認し、発表直前にそのトレンド方向とは逆方向に、指値、逆指値を設定した上でポジションをエントリーするという流れになります。但し、上にも述べた、米雇用統計発表直前に膨大な注文が殺到し、意図したポジションを打てなくなる場合がある問題を解決出来ていないため、ある程度のテクニックを要する手法でもあります。仮に、余裕を持ってエントリーした場合、トレンドに逆らっている分、含み損を抱えて米雇用統計発表を迎える事になる可能性が高くなります。トレードテクニックを磨く事でこの問題はある程度軽減出来るとは思いますが、それが無理な場合は、素直に余裕を持ってトレンド方向にポジションをエントリーするのも一つの手だとは思いますが、実際のところ、米雇用統計発表後に上昇するか下落するかが、それまでのトレンドの影響を極端に受けているかと言うと、当てはまらないケースもそれなりに見受けられる場合があるからです。これらトレード法は、個々人の能力から考えて選定すべき事なので、どちらが正解とは私からは明言出来ません。

では、モンテカルロ法と上のトレード法を組み合わせると、どのような結果が期待できるのか分析してみます。まず、比較対象として米雇用統計ではない個所でトレードする事を想定し、勝率は 33%としました。TAKE PROFIT は少し余裕を持たせて 30pips とし、STOP LOSS はその半分の 15pips とします。

- ・円建て口座で証拠金は 10 万円
- ・レバレッジ 25 倍
- ・取引通貨ペアは USD/JPY でレートは 1 ドル=120 円
- ・単位ロットサイズは 100 ドル
- ・勝率は 33%
- ・利確は 30pips
- ・損切りは 15pips

上記を設定したものが以下になります。

Monte Carlo investment method simulator for FX

ツール(T) ヘルプ(H)

TRADE INFORMATION

対象レート換算証拠金:	100000	CLEAR
レバレッジ(倍):	25	CLEAR
対象通貨ペアレート:	120	CLEAR
単位ロットサイズ(通貨):	100	CLEAR
勝率(%):	33	CLEAR
TAKE PROFIT:	0.3	CLEAR
STOP LOSS:	0.15	CLEAR
	SAVE	LOAD

このパラメータで ARITHMETIC SIMULATION を実行した結果は以下になります。

ARITHMETIC SIMULATION

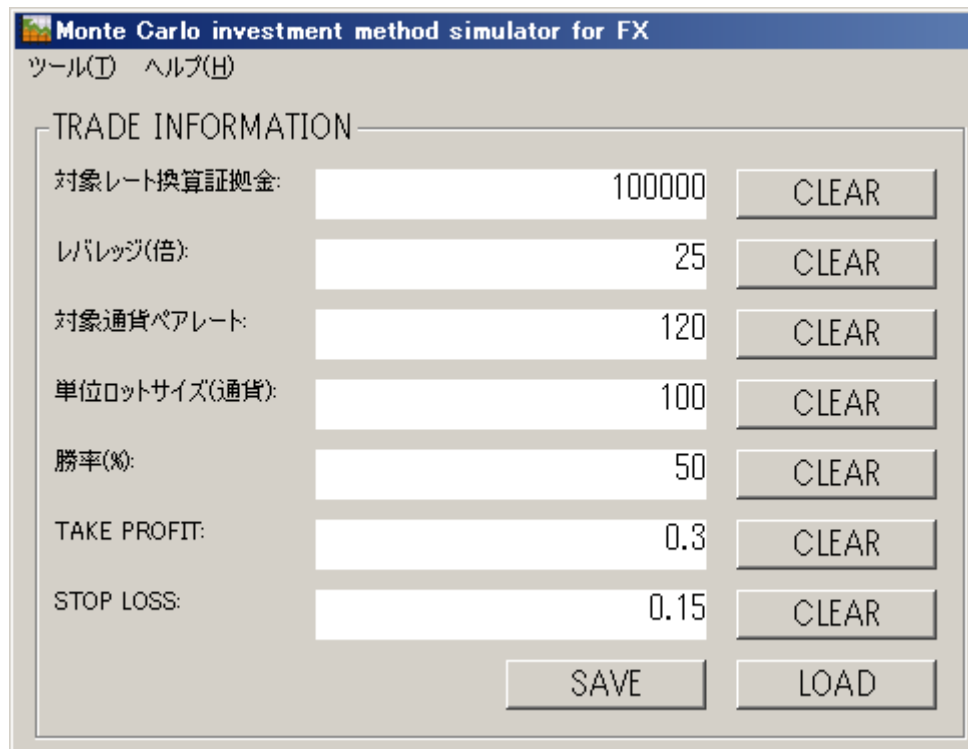
破産率(%):	1.1543
期待値(WIN ONLY):	126.3987305467
期待値(WIN & LOSE):	-9.791925
期待値(LOSE ONLY):	-11672.1506540761

CALCULATE

次に、米雇用統計を利用したトレード法の場合を計算してみます。勝率を 33%→50%に変更するのみです。

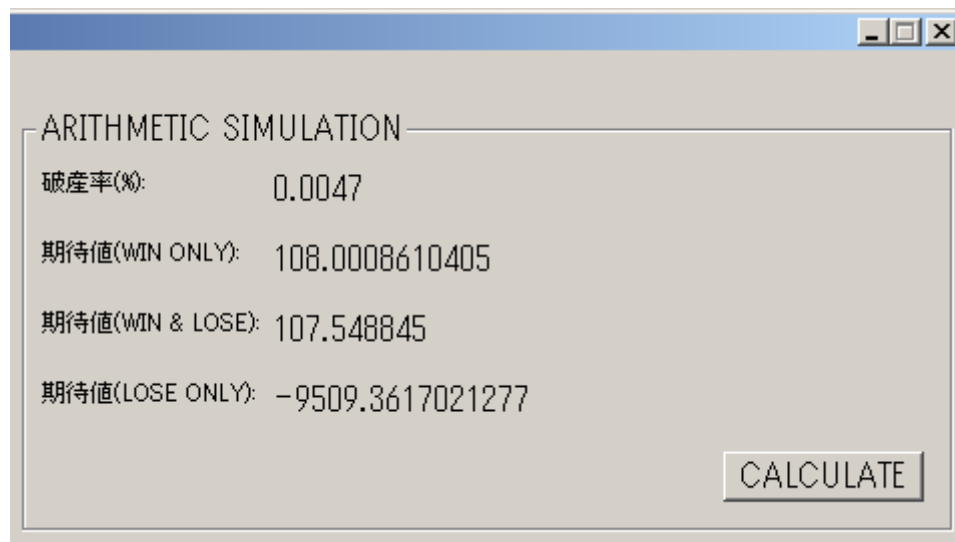
- ・円建て口座で証拠金は 10 万円
- ・レバレッジ 25 倍
- ・取引通貨ペアは USD/JPY でレートは 1 ドル=120 円
- ・単位ロットサイズは 100 ドル
- ・勝率は 50%
- ・利確は 30pips
- ・損切りは 15pips

上記を設定したものが以下になります。



Monte Carlo investment method simulator for FX		
ツール(T) ヘルプ(H)		
TRADE INFORMATION		
対象レート換算証拠金:	100000	CLEAR
レバレッジ(倍):	25	CLEAR
対象通貨ペアレート:	120	CLEAR
単位ロットサイズ(通貨):	100	CLEAR
勝率(%):	50	CLEAR
TAKE PROFIT:	0.3	CLEAR
STOP LOSS:	0.15	CLEAR
SAVE		LOAD

このパラメータで ARITHMETIC SIMULATION を実行した結果は以下になります。



ARITHMETIC SIMULATION	
破産率(%):	0.0047
期待値(WIN ONLY):	108.0008610405
期待値(WIN & LOSE):	107.548845
期待値(LOSE ONLY):	-9509.3617021277
CALCULATE	

この結果の通り、モンテカルロ法と米雇用統計を利用したトレード法を組み合わせる事により、破産率は1/245程度に、期待値はプラスにする事が出来ました。

米雇用統計を利用したトレード法単体でも期待値をプラスに出来る事は上でも説明しましたが、モンテカルロ法と組み合わせる事により、利益が上がった事を確認出来るセット単位でトレードを管理出来る点で、モンテカルロ法と組み合わせるメリットはあると考えられます。

3. 米雇用統計以外のトレードポイント

米雇用統計を利用したトレード法が効果的である事は理解頂けたと思いますが、「米雇用統計は月 1 回しか無い為、米雇用統計以外のトレードポイントは無いのか?」という疑問が出て来るかと思いますが。米雇用統計以外にも、経済指標は沢山ありますので、狙えると判断した指標発表時のトレードに挑む事は悪い事ではありません。但し、1 セット内に複数の通貨ペアでの取引が混在したり、狙える値幅が違うという理由で、その経済指標毎に TAKE PROFIT 及び STOP LOSS の値幅を変えたりする事は望ましくありません。(厳密には、単位ロットサイズ等も同時に調整して、1 セット内のトレードに整合性を持たせる事が可能である場合は、この限りではありませんが、トレードに混乱を招きかねない為、私としては推奨出来ません。)

経済指標以外に普段の相場でモンテカルロ法を活用出来ないかと考える人が居るかもしれません。私の中では幾つか効果的と思われる手法の構想はありますが、残念ながらこれを教える訳にはいきません。その理由は、まだ十分な検証が進んでいないという事も理由の一つではあるのですが、何よりも大きな理由が、インターネット上で情報収集をする人達のマナーが悪すぎる事が挙げられます。私は YOUTUBE 上に FX の解説動画をアップロードした事があるのですが(もちろん広告等は貼らず、無料で公開しました。)、コメント欄は酷い事になりました。「こんな手法は使いものにならない」だとか「話になりません」だとか「こんな動画は消せ」といったコメントで溢れました。私は呆れました。タダで教えて貰おうという立場の人が善意で教えてくれている人に対して食ってかかるという行為をして、自分がどれだけ理不尽な事をしているのかを理解出来ているのか疑問でなりません。私は趣味程度にギターを弾く事があり、YOUTUBE 等でギターを教えてくれる人の動画を見たりするのですが、私は教えて貰う時には相手をリスペクトするスタンスでいるので、多少見づらい動画でも感謝のコメントを書いています。が、コメントの履歴を遡ってみてみると居るんですね。タダで教えて貰って批判している非常識な人間が。こういう非常識な人間が増えたのもインターネットが普及したからなのでは。かつて、インターネットが無かった頃は情報の収集に苦労していたそうですが、インターネットが普及してからは情報が溢れてしまったため、情報を取捨選択する能力が求められるようになり、優れた情報を提供する人が居たとしても、より優れた情報を提供する人が現れた場合には、前者は切り捨てられ、更には、民度の低い人は前者を非難の対象にまでしてしまうのでしょう。民度の低い非常識な人間には当ソフトウェアを利用して欲しくないものです。別に当ソフトウェアの利用者に対し、開発者である私をリスペクトしろとは言いませんが、最低限タダでソフトを貰って文句を言うという理不尽な事はしないで頂きたいです。ただ、「こんな手法は使いものにならない」という文句は言うてはいけない事ではあるのですが、その通りでもあるのです。何故ならば、FX のトレード手法というのは、誰かの成功法が別の誰かの成功法になるとは限らないものだからです。例えば、トレードチャンスを時間をかけて待つ事が得意な人の成功法である、1 日平均 1 回程度のトレードチャンスしかないトレード手法が、待つ事の苦手な短気な人にとっての成功法になるとは考えにくいですし、瞬発的な判断力を要するスキャルピングのトレード手法を得意とする人が居れば、逆に瞬発的な判断が向いていない人も居る訳です。もっと掘り下げれば、自分の性格や論理力や感性、過去の経験やコンプレックス、トラウマ等、様々な要因を考慮して、自分に適したトレード手法を自分で組み立てなければならないのです。それを実現する為に効果的なのが、自分で考えるだけではなく、書籍やインターネットで公開されている様々なトレード手法を調査する事なのですが、上で述べたように、恐らくその殆どが自分にとっては使いものにならない手法です。ただ、ここで「こんな手法は使いものにならない」と文句を言っているだけの人は、恐らくいつまで経っても自分に合った成功法には辿り着けないでしょう。自分に合った成功法を組み立てるには、入手したそのままでは使いものにならないトレード手法に対し「ココをこのように変えたら自分に使える範囲で利益が上がるのではないか?」と仮説を立て、検証する作業が必要になります。もちろん、このような研究が苦手な方も居るかもしれませんし、それ以前の問題として自分の能力や経験的要因から、トレードで利益を上げる事が困難な方も居るかもしれません。その場合、「自分は FX に向いていない」という結論を出す事も勇気のある判断だと私は思います。FX はお金を稼ぐツールの一つに過ぎません。しかも、安易

な考えで手を出すと、人生そのものを狂わせるリスクを孕んでいます。目先の利益にとらわれず、まず、本当にFXをする必要があるのかを考える事も大切な事です。

では、以下ではFXで利益を上げる事を目指し、モンテカルロ法をベースとなる資金管理法に選定した事を前提に、トレード手法の組み立て方について幾つかアドバイスしたいと思います。

まず、モンテカルロ法のメリットについてですが、

- ・ポジションには、指値、逆指値を設定するので、エントリー後はチャートを監視する必要性が無い。
 - ・34%以上の勝率で期待値がプラスになる。
- 等が最大のメリットと言えます。

デメリットとしては、

- ・指値、逆指値の値幅が全てのポジションに於いて同一であるため、トレンド発生時に臨機応変に利食いする事が困難。
 - ・ロットサイズの増加率が連敗中はトレード数に正比例するが、勝ち負けを繰り返した場合、最悪のケースでは指数関数的に増加する。
- 等がデメリットとして挙げられます。

これらの情報から、最低限期待値がプラスになるような手法の選定及び改良を行うのですが、まず、「エントリー後はチャートを監視する必要性が無い」というメリットから、ポジションの決済の事はあまり考えず、優秀なエントリーポイントを分析するような手法をベースにする事が考えられます。但し、エントリー後に指値に到達できる見込みが十分にある手法である必要があります。「34%以上の勝率で期待値がプラスになる」というメリットを享受するには、米雇用統計でもそうですが、指値、逆指値を設定した場合は、値動きが激しい程、勝率は50%に近くなるので、値動きの激しい状況でトレードする事が効果的と考えられます。値動きの激しい状況でトレードする最も簡単な方法は通貨ペアを変える事です。一般的にGBP/JPY等の通貨ペアは値動きが激しいため危険と言われていますが、考え方次第では安全な通貨ペアとも言える訳です。通貨ペア毎に特性があるので、その点についても研究が必要になります。「トレンド発生時に臨機応変に利食いする事が困難」というデメリットについては、個人的には考慮しなくても良いのではないかと考えています。IFDOCO注文を利用する事により、続けて利確出来る可能性もありますが、果たしてその注文が約定した時点のエントリーポイントが優秀なポイントであるのかどうかは疑わしい部分があります。(もちろんそれによりパフォーマンスが高まる可能性は否定しませんが。)相場の格言である「頭と尻尾はくれてやれ」に従う方が精神衛生上も宜しいのではないのでしょうか。「勝ち負けを繰り返した場合、最悪のケースではロットサイズが指数関数的に増加する」問題についてですが、この現象はベースとなっている資金管理法の性質なので、完全に回避は出来ないのですが、勝ちトレード1回に対して負けトレード4回以上になる場合に大きく問題になる事なので、34%以上の勝率を維持出来る手法に辿り着けた場合にはこの問題は解消出来ているケースが多いでしょう。

また、私が実験的にトレードしてみて気になった点ですが、負けるケースの傾向として、指値、逆指値の設定にもよりますが、特にレンジ相場ではロングをしてもショートをしても負ける状況になるケースが目立ちました。実例を挙げますと、USD/JPYの通貨ペアで検証する際、ポジションの、指値、逆指値は、米雇用統計を利用したトレード法と統一する観点から、指値を30pips、逆指値を15pipsとしてエントリーしましたが、レンジの幅が30+数pips程度だった場合、レンジの中心付近でエントリーした場合は、ロングをしてもショートをしても指値には到達せず、逆指値に引っかかってしまうと言う状況になりました。この問題を解決するには、場合によっては、レンジ相場でのトレードを見送るか、米雇用統計のトレードチャンスを捨てて、レンジ

の範囲を包括出来る値幅の逆指値を設定し、その逆指値の値幅の2倍の指値を設定した上でエントリーするという、レンジからのブレイクアウトを狙った手法等が有効になると考えられます。レンジ内で利益を上げる目的で値動きの激しい通貨ペアを選択するという考え方も出来なくはありませんが、その場合スプレッドの影響を大きく受ける為、狙いどころの見極めが難しくなります。その場合、状況次第ではSTOP LOSSが1に対して、TAKE PROFITが2という比率を崩す事も必要になるかもしれません。

以上の事を踏まえて、モンテカルロ法と矛盾の生じないチャート分析法等を組み立てて見て下さい。自分で考える事も良いですが、上にも述べましたが、ベースとなる手法をインターネットで検索したり、本で調べたりする事も有効です。インターネットで調べる場合「FX 手法」等のキーワードで検索すれば、そこそこヒットします。本で調べる場合は、私のお勧めの書籍としましては「稼ぐ人のFX 儲けの流儀」というシリーズの本を推奨します。恐らく、多くの人にとって、載っている全ての手法がそのままでは使いものにならない手法だとは思いますが、自分には思いつかないような着眼点の手法もあり、ベースとなるチャート分析法等を発見するにはとても良い本だと思います。

4. 高額な情報商材について

最近FXの攻略法を謳った、高額な情報商材が数多く見受けられるようになりました。私も調査の為に数十万円相当の情報商材を拝見しましたが、その殆どがそのままでは使いものにならないものばかりで、インターネットや書籍で手法を調査することと得られる情報には大差が無いと思っています。高額な情報商材を見た私の所感としましては、2000円程度の本を買った方が得る物が多いのではないかと感じました。商品を紹介するプレゼン動画の催眠効果もあって、その商材を買えば簡単に儲けられるような気がしてくるものですが、買うという行動を起こす前に、思いとどまって知識のある人に相談してみる事も大切な事です。

5. FXの自動売買について

当ドキュメントを読んで、「自分はFXに向いていない」という結論を出した人もいるかもしれません。その結論を出しつつも、FXは止めたくないという想いから、FXの自動売買に手を出そうと考えている人が居るかもしれませんが、数十万円相当のFXの自動売買ソフトやEAを購入し、検証してきた私の立場から言わせて頂きますと、止めておいた方が無難だと思います。

私はプロトレーダーがシグナルを配信して、そのシグナルに従って売買されるというソフトを30万円程で購入し、運用した事がありますが、結局どのトレーダーも直ぐに負けて、20万円程損失を被りましたし、しかもソフトは直ぐにサービス終了になった上、業者からは報告も謝罪も返金される事はありませんでした。結局シグナル配信の自動売買ソフトというのは、幾ら商品について説明されても、運用上はブラックボックスだらけで、全貌を把握できないため危険だと言うのが私の考えです。

ではロボットのEAによる運用ならどうかという事についてですが、私は一部を除いてこれも推奨しません。特にパフォーマンスの高いEAは、直近の相場の状況を基に、その相場で高い利益が出るようにプログラミングされており、少し相場の状況が変わっただけで大きな損失を出すものが殆どです。私も数多くのEAが一時적으로는利益を上げるものの、暫くして破産していく様子を何度も見てきました。一時的にでも利益が上がるのだったら最初の美味しい時だけEAで運用すれば儲かるのではないかと考える人も居るかもしれませんが、直ぐに破産するEAで溢れている中、どのようにして一時的にでも利益が上がるEAを見極めるのかを考えれば、手を出さない事が賢明です。長期的に利益を上げ続けているEAは様々な相場の状況で利益を上げる事を想定して作ってあるという性質上、パフォーマンスはそこまで高くはないのが世の常です。資金力がある人なら手を出す価値があるかもしれませんが、そうではない人が手を出しても、その微々たる利益では、自動売買に使っているパソコンの電気代の方が高くつく事になるかもしれません。

EA は自分で開発する事も出来るので、優秀なロジックの構想がある場合には、自分で EA を作って運用する事も選択の一つですが、販売されている EA の殆どが負けている現状を考えれば、簡単に事は進まない事は容易に想像できるでしょう。

6. 証券会社の選定について

FX の場合、日本国内に於いては、レバレッジは 25 倍までに規制されるようになりました。しかし、海外の証券会社に於いては、このような規制は適用されていないため、数百倍のレバレッジのものが多く見受けられます。一般的にレバレッジが高いと危険と言われていますが、それは、日本でレバレッジが規制される際に金融庁が説明した「レバレッジが高いと危険なので投資家を保護するため」という理由を鵜呑みにしているからでしょう。実際のところレバレッジは幾ら高くてもリスクは一切増えません。レバレッジ 25 倍の証券口座で 100 万通貨買う事も、レバレッジ 1000 倍の証券口座で 100 万通貨買う事もリスクは全く一緒です。ただ、同じ証拠金の場合はレバレッジ 1000 倍の方がより多くの通貨を買う事が出来るという話です。つまり、レバレッジの規制により、「自由が無くなった」というデメリットが生まれたという事になります。この説明には「少ない通貨しか買え無くなったのだから結局失う証拠金も少なくなるためリスクが減ったのではないか?」という反論があるかもしれませんが、そういう人には「寧ろハイレバレッジな証券口座と同等の利益を生むためには、より多くの証拠金を必要とする為、より証拠金を失い易くしている。」と言っておきたいと思います。実際、レバレッジの規制が無かった頃は、証券口座内に 1 万円だけ入れておき、どんなに失敗しても失うのは基本的に 1 万円だけなので、米雇用統計等で一攫千金を狙うと言った戦術により利益を上げていた人も居たようですが、レバレッジ規制後は、同じ利益を上げようにも、より多くの証拠金が必要になり、結果として、多くの損失を被ったり、その手法から撤退したりする人が溢れる事になりました。

では、レバレッジの規制が無い海外の証券会社を選定すれば良いのかという話になりますが、これも一概にそうとは言えません。投資において、海外では日本人はカモにされる傾向にあります。何が言いたいかと言いますと、海外の FX 業者には、日本人に対して詐欺的な行為をして、元本を搾取する所が目立つと言う事です。

このような業者の見極め方として、

- ・業者のサイトの WEB ページが日本語だけ。
- ・Q&A に「意図しない動作をした場合」などの説明がある。

といった業者は危険と判断した方が、私の経験上無難だと思います。

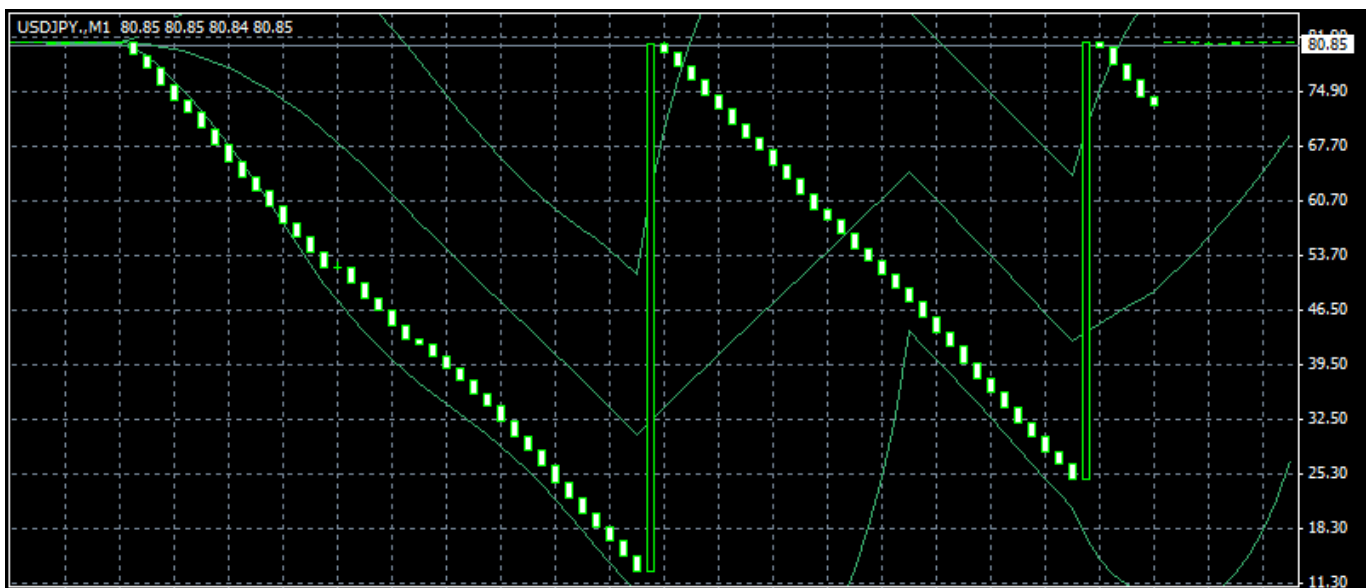
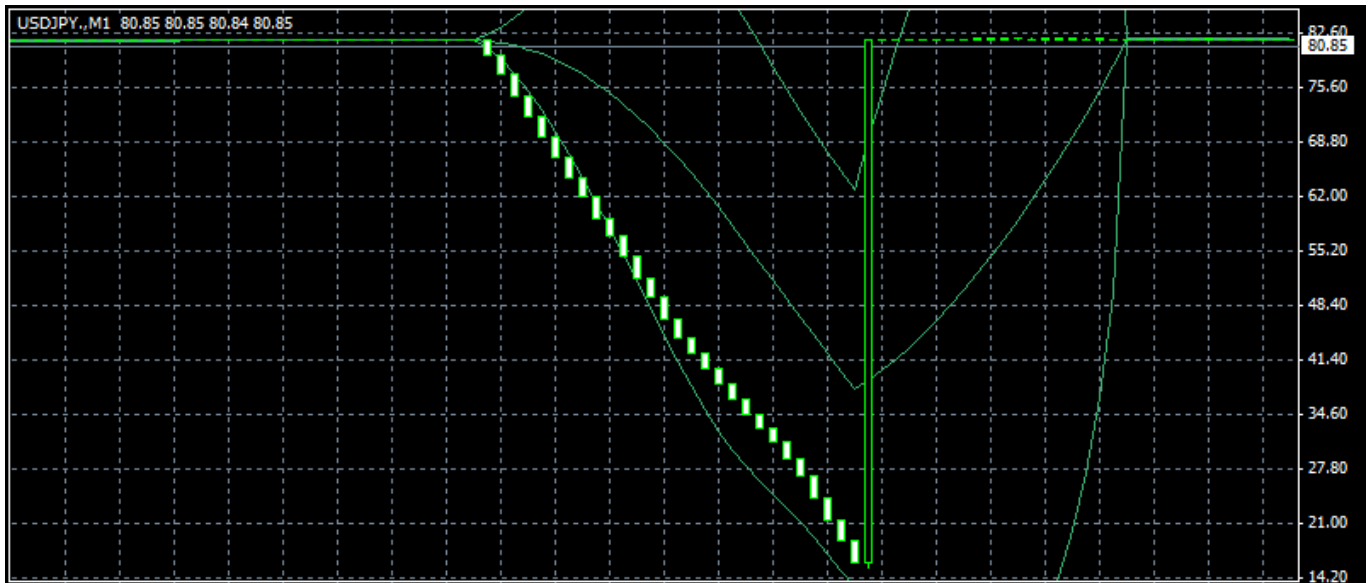
WEB ページが日本語なのは日本人だけに的を絞っていると考えられますが、果たしてその必要性があるのかを考えれば怪しいと結論付けるのが妥当でしょう。

意図しない動作をした場合の説明があるという事は、トレードソフトが意図しない動作をして投資家が損失を被るように仕組まれている可能性があるかと疑った方が良いです。実際 FX 業界の関係者の話を聞くと、意図的に投資家が損失を被るようにトレードソフトに仕組んだ経験のある人も居るようです。

では、悪質な業者がどのようなものなのか、この条件を両方満たした、F 社の例を挙げてみたいと思います。

この F 社は決済の操作をしても、それどころか、また新たなポジションを打つ等の明らかに投資家に損失を与える事を目的とした動作があったり、レートの配信が窓空きだらけになったりする事が頻発していました。

この業者は東日本大震災以降、現実からかけ離れた値動きをする事が目立つようになりました。以下のチャートを参照して下さい。



通貨ペアはUSD/JPYですが、30分程で65円程下落したり、ノコギリ波状に数十円の値幅で上下したりするという、インターバンクからかけ離れたレートが配信されました。

悪質な業者には、投資家が損失を被らないと出金に応じない所もあるようで、業者の選定は慎重に行う必要があります。特に海外の悪質な業者に引っかかってしまった場合、泣き寝入りせざる得なくなる場合が殆どです。国内での業者選び以上に選定には注意が必要です。また、マトモな業者でも、海外の業者の場合には高額な出金手数料が求められるケースも目立ちます。その為、少額で運用して、少額の利益を得たとしても、日本の銀行口座に出金した場合には赤字になるケースもありますので、少額での運用を検討している場合には海外の業者は推奨できない場合が多いです。日本の銀行口座に出金した場合、取引のエビデンスが求められる場合もある為、その煩わしさを嫌う方にも海外の業者は推奨できません。

確かに、ハイレバレッジな取引は魅力があるので、海外の証券会社には魅力があるのですが、海外であるというだけでも様々なリスクが考えられることから、私としては、ハイレバレッジである事が必須であるトレード手法を利用しないのであれば、日本の証券会社で我慢する事をお勧めします。

では、日本の証券会社のうち、どのような要件を満たす証券会社を選ぶべきなのかという事になりますが、スプレッドの低さや約定スピードの速さ等は当然考慮しなければなりません、そうした数値化出来るパフォーマンスだけで判断する事は私の経験上危険だと感じています。私が実際経験した事です、私が以前利用していたS社という証券会社については、自己資本規制比率が100%を下回っている事を隠蔽して申告をする等の不正を行い、関東財務局から業務停止命令を受けていましたし、他にも有名どころで言えば、〇〇〇証券が国際的な詐欺を行った会社である〇〇〇FUNDと繋がっており、結果として証拠金に出金の制限がかけられる等の事態に発展しました。このような証券会社に引っかからないようにするためには、完全には防げないのかもしれませんが、知識のある人の意見を聞いたり、インターネットの掲示板の情報等から判断する事で、ある程度は回避できるようになると思います。資金やトレード環境に余裕がある場合、幾つかの証券会社に資金を分散する事も、こうした事態の対策にはなると考えられます。

7. FXの運用の委託について

FXを自分で運用する事は困難だと考えている人の中には、運用してくれる業者に元本を渡して運用して貰おうと考えている人も居るかもしれません。日本において、他人の元本をFXで運用するには第二種金融商品取引業の登録が必要になりますが、無登録で運用している違法な投資会社も数多く存在します。ただ、無登録だから儲からないのかと言えば一概にそうとも言えません。私の経験から言いますと、登録されている業者は比較的透明性があり、ローリターンで王道的な商品になる傾向にあり、無登録の業者に関しては、不透明な運用で、一般的に普通には出てこないような高利回りの商品になる傾向にあります。目安としては、登録のある業者の商品は年利数パーセント程度のものが多く、無登録の業者の商品は年利数十パーセントから多いものでは百パーセント以上になるものもあります。では高利回りの無登録の業者の商品に出資すれば良いのではないのかという考えに至るかもしれませんが、個人的には無登録の業者には関わらない方が無難だと思います。全てのケースがそうだとは言いませんが、無登録の業者の商品の傾向として、確かに最初の数カ月は高い利回りで配当を受け取れる場合が多いのですが、暫くすると何か理由を付けて配当を出さない工面をしたり、元本を償還しなかったりするケースが目立ちます。これは実際は運用せずに、自転車操業した結果によるものの場合が目立ちます。特に、こうした業者は訴えられる事を前提にやっている場合が多いので、当然、強力なバックが居たりします。元本を取り返そうと下手な行動に出れば、最悪、人命に関わる事態に発展する危険を孕んでいます。私は無登録の業者のFX投資商品で儲けた実績があるので、全てを否定する気はありませんが、仮に無登録の業者で運用する場合は、最悪、元本全てを失う覚悟が必要になるでしょう。その覚悟が出来ないのでしたら、登録のある業者の商品を買うか、運用の委託をしない事をお勧めします。

ただ、無登録と言っても、少しスタンスの違う商品も存在するので、軽く紹介したいと思います。それはFXのEAによる自動売買の運用なのですが、そのEAというのが世界中の専門家達が知恵を出し合って作られたもので、一般的に購入できるEAの比ではないハイパフォーマンスを叩きだせるものになっているのです。ただ、その専門家達も、そのEAのロジックを秘密にしておきたいと言う観点からEAを販売できない状況にあるのです。そこで、無登録でも合法的に運用する為に海外に拠点を持ち、そこで、出資者から元本と手数料を預かり、出資者に代わって運用を代行するというシステムになっています。私にはEAを含め、この商品の全貌が見えないため、この商品について私からは特にコメント出来ませんが、自分でEAや運用するマシンの維持・管理をしなくても良い観点から、維持・管理を煩雑に感じている方にとっては、ニーズに合った投資商品とも言えるかもしれません。(ただし、その業者が確かな業者なのかどうかの見極めは別問題です。)

8. FX 以外の投資について

上記の説明を読んだ方には FX に魅力を感じられなくなった方も居るかもしれません。それは正常な反応で、FX は負けるように出来ているようなものだと認識して貰っても間違いは無いです。そこで FX 以外の投資なら利益を上げられると考える人も出て来るかと思いますが、様々な投資を見てきた私の観点から少し述べてみたいと思います。

私は、ちょっとした切欠で、一時期、経済界関係者の人とコネクションを持っていた事があります。(確かにその筋の人である事は雑誌で確認しました。)私は、そのコネクションを利用して、株や FX 等の先物取引だけではなく、普通には出てこないような、様々な金融ビジネスを知る事になりました。私はこうした商品に幾つか投資しましたが、結果的に詐欺的な物が多く、最終的には 390 万円程損失を被り、全財産を失った上、借金を 35 万円程作り、住む場所も失うという状況になりました。(その後、アベノミクスの波に乗れた事等が追い風となり、2015 年現在、なんとかトータルでは 60 万円程損益がプラスになりました。)

出来れば、当ドキュメントの読者の方には私のような失敗をして欲しくないなので、FX 以外の投資商品に投資する際の注意点を挙げてみたいと思います。まず、1 点目ですが、FX にも当てはまる事なのですが、商品の仕組みに矛盾が無い事を確認する必要があります。これを確認するには、徹底的に商品について掘り下げて細かく質問し、話の筋が通っている事を確認する必要があります。矛盾を無くす事は、モンテカルロ法をベースにしたトレード手法を組み立てる際にも意識して貰いたいところで、モンテカルロ法の性質と矛盾の無いチャート分析法を選定する必要がありますし、そのチャート分析法の中でも、例えば、トレンド系の性質とオシレータ系の性質の中で矛盾が生じるような事は避けなければなりません。私は矛盾を無くす事が様々な投資に当てはまる成功法だと考えています。矛盾を抱えているものは、一時的には上手く行っても、そこから亀裂が入りやがて崩壊します。2 点目ですが、商品の性質の如何に関わらず、余裕資金で投資する事です。元本保証などを謳い契約書を交わす場合もあり、その場合にはノーリスクなのだと錯覚して、全ての有り金を投資に回したくなるかもしれませんが、契約書を交わしたからと言って、相手がその契約を守るかどうかは別問題です。特に元本保証という説明は出資法違反ですので、何か裏があると疑ってかかるべきです。実際、投資した結果、それが詐欺だったとして、法的手続きを踏むにしても、そうした要因から過失相殺が適用され、裁判に勝っても元本全額を取り返す事は難しい場合があります。

以上の事から、FX であるかどうかに関わらず投資にはリスクが伴いますので、もし、当ドキュメントを読んでいる貴方が就労等で安定収入を得ている生活に不自由を感じていないのであれば、投資の世界に足を踏み入れる事はお勧め出来ません。特に家庭を持っている方については、あまりに危険過ぎるので、止めてあげたいです。それでも、どうしても目的があって投資をするのであれば、相当な覚悟の上決断する必要があります。

9. FX 初心者の方へ

当ソフトウェアのマニュアルは最低限の FX の仕組みや用語を知っている事を前提に執筆しておりますので、FX の知識がまだあまり無い方には、もしかすると、何を説明したいのか分からない個所があったかもしれません。そうした場合、インターネットで調べるのも良いのですが、良く使う事になると思うので、基本的な事しか書いてない本で良いので FX の参考書を 1 冊購入しておくとも良いかと思います。因みに、私は「FX で月給の 10 倍を稼ぐ本—5 千万のトレーダー為替鬼の FX 投資術!8 割の勝率で稼ぎ続ける極意」という本を基本的な事を調べる為に使用していました。これは私が初めて購入した FX の本でもあります。皆様も是非お気に入りの一冊を探してみてください。

10.最後に

恐らく、当ソフトウェアを手にした方は、富を得て、より人生を良いものにしようとする意識の高い方なのではないかと思います。そのような意識の高さと行動力があれば、自然と成功に近づいて行けるのではないかと私は考えています。

人生は選択の繰り返しと言われていています。当ソフトウェアをダウンロードするという選択をした貴方のこれからが首尾よく行きますようお願い致します。